



令和4年度第3回神奈川県保健医療計画推進会議 参考資料2

令和4年度第2回保健医療計画推進会議 の振り返り

1. 第2回会議（令和4年9月26日開催）について

1. 協議事項

- (1) 精神病床の取扱いに関する要綱整備について
- (2) 令和4年度の病床整備事前協議について
- (3) 病床の取扱いについて
 - ア 湘南西部地域について
 - イ 相模原地域について
- (4) 医療介護総合確保促進法に基づく令和4年度神奈川県計画（医療分）
策定の概要について
- (5) 国庫補助金等における事業計画の事後的評価について



1. 第2回会議（令和4年9月26日開催）について

2. 報告事項

- (1) 令和4年度第1回地域医療構想調整会議結果概要について
- (2) 第8次保健医療計画策定に向けた令和4年度の実施について
- (3) 令和5年度から適用する基準病床数の見直し検討について
(横浜、川崎北部、横須賀・三浦地域)
- (4) 外来機能報告制度について
- (5) 地域医療構想をめぐる国の検討状況等について



2. 協議事項について

- (1) 精神病床の取扱いに関する要綱整備について
- (2) 令和4年度の病床整備事前協議について
- (3) 病床の取扱いについて（イ 相模原地域について）
- (5) 国庫補助金等における事業計画の事後的評価について

⇒ 事務局提案についてご了承をいただいた。

2. 協議事項について

(3) 病床の取扱いについて（ア 湘南西部地域について）

⇒ 次のとおり意見を取りまとめた。

「原則どおり東海大学大磯病院の廃止に伴って病床を返上した場合には地域医療への影響が大きいため、病院等の開設等に関する指導要綱第7条に定める適用除外の案件としてほしいとの地域の意見を尊重することとし、地域の医療提供体制の維持・確保の観点から、病床の返上による空白期間を生じさせないようにすることが望ましい。」

(4) 医療介護総合確保促進法に基づく令和4年度神奈川県計画（医療分）策定の概要について

⇒ ご意見を踏まえ、事務局において資料を再整理することとした。

2. 協議事項について（主なご意見）

【病床の取扱いについて（湘南西部地域について）】

- ・ 湘南西部地域は、高度急性期は過剰、急性期・慢性期は不足となっている中、当該病院の高度急性期病床を稼働する予定となっている。経営環境の分析や地域医療構想の方向性も明示されている中、地域の手続が進んで今回の継承は認めざるを得ないとしても、これを判断する基準となる県の指導要綱に、地域医療構想の時代にふさわしいような改善を図る必要があるのではないか。

2. 協議事項について（主なご意見）

【医療介護総合確保促進法に基づく令和4年度神奈川県計画（医療分）策定の概要について】

- ・ 基金は、最初に事業があって、こういうメニューがあるので、そこに対して公民問わず手を上げて、基準を満たしていれば事業化するというのが本筋であり、そうでなければ特定の公立病院の再整備にお金を使うのはおかしいのではないか。
- ・ 資料に県計画の作成に関する基本的な考え方と県全体の目標が掲げられているが、この中に基幹病院の再整備事業が明確に位置付けられていないことが問題である。官民の病院格差がなく公平になるよう、また地域医療構想との整合性が明確になるよう、明確に書き込むべき。

2. 協議事項について（主なご意見）

【医療介護総合確保促進法に基づく令和4年度神奈川県計画（医療分）策定の概要について（前頁の続き）】

- ・ 県と国のお金を使うので、地元が全員賛成だったとしても、全県的な整合性は必要だと思う。その点を計画作成の概要に反映させる。あとは事業メニュー、ある程度の規模の地域で基幹的な役割を担う者がこういうことをやっているときは、地域で協議して認められるのだったらというような形をつけないといけない。後日、国に提出する前に情報提供してほしい。

2. 協議事項について（主なご意見）

【国庫補助金等における事業計画の事後的評価について】

- ・ 事後的評価に当たって、目的に沿った支出が目的どおりの効果を上げたのかどうか、費用対効果として改善点がなかったのかどうかという有効性については評価しているか。そうした評価が補助金の支出の今後のあり方を考える上でも非常に重要だと思う。

3. 報告事項における主な意見

【第8次保健医療計画策定に向けた令和4年度の実施について】

- ・ 7次計画の振り返りが非常に大事だと思う。また、医師の働き方改革は最も注視していかないと一番影響が大きいと思う。

【令和5年度から適用する基準病床数の見直し検討について】

- ・ 地域医療構想調整会議で議論する場合、医師の働き方改革の動向を情報共有する中で議論を進めないと、数合わせの議論になってしまうと考える。事務局には十分深い、客観的な議論ができるような準備をしていただきたい。
- ・ 病床の増やすことが将来にどういう影響を与えるのか。様々な環境の変化が見込まれる中、基準病床数の計算式に従ったやり方では限界もあると思うので、その点は十分意識した方がよい。